

平成 30 年度カキ養殖概況

岩本俊樹*・村山史康

養殖規模 平成 30 年度の漁業協同組合別マガキ養殖状況を表 1 に示した。全県の経営体数は、前年度から 3 経営体減少し、144 経営体であった。筏台数は、前年度から 25 台減少し、2,013 台であった。

養殖経過 本年度の牛窓沖海水温と平年偏差の推移を図 1 に示した。4~9 月は平年値との差が-1.0~3.0℃の間で変動した。その後、10 月上旬から 3 月下旬は平年値より 0.1~2.3℃と高めで推移した。

カキ養殖漁場 39 定点におけるクロロフィル a 量の平均値は、抑制期(4~9 月)は 5.2 μg/L と、平年(5.3 μg/L)並であった。また、養成期(10~翌 3 月)は、9, 10 月に 1.05~5.68 μg/L, 12 月下旬に 3.0 μg/L と平年を上回ったが、それ以外の月は平年並みであった。

本垂下は主に 4~5 月下旬の間に行われ、沖出しは 9, 10 月に、生産は 10 月下旬から 11 月上旬の間に例年どおり開始された。本年度は豪雨や赤潮などの環境要因や広島県の採苗不調による種苗不足などが影響したため、収穫開始までの生残数が例年に比べて少なかった。そのため、生産量が減少し、ほとんどの漁協で早期に生産が終了した。

生産結果 成長、身入りとも良好であったが、生残数の低下から 10~12 月の間の累積生産量は約 754t, 年間生産量は前年度比 73%の 2,577t となり(表 1), 過去 10 年間で最も少なかった。

県が実施したカキ出荷期間中のノロウイルス検査は、140 検体いずれも陰性であった。

その他 県内採苗は日生町, 伊里, 邑久町, 牛窓町漁協で 7 月中旬に始まり, 8 月上旬で予定枚数を確保した。

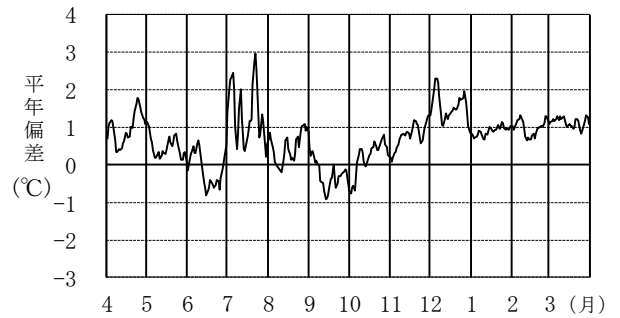


図 1 平成 30 年度の牛窓沖海水温と平年偏差の推移(平年値は 1981~2010 年の平均)

表 1 マガキ養殖状況(平成 30 年度養殖年度)

漁協名	経営体数	筏台数	沖出し時期 (月/日)	生産時期 (月/日)	生産量	
					むき身(t)	対前年度比(%)
日生町	46	469	10/ 9 - 10/17	11/ 4 - 4/ 5	1,085	66
伊里	5	42	9/ 5 - 9/12	11/25 - 3/ 1	5	18
邑久町	66	1,306	9/16 - 10/21	10/31 - 5/20	1,271	82
牛窓町	5	89	10/16 - 10/18	11/ 4 - 4/ 3	91	71
寄島町	17	81	10/14 - 10/19	11/ 7 - 3/29	112	79
笠岡市	5	26	10/13 - 10/16	11/13 - 3/23	12	44
合計	144	2,013	9/ 5 - 10/21	10/31 - 5/20	2,577	73

*岡山県農林水産総合センター普及連携部普及推進課